

天敵保護装置 『バンカーシート®』の活用

～天敵を保護・増殖し、長期間放出する～



野菜育苗期



野菜定植後



イチゴ親株



果樹

▲バンカーシート設置例

■天敵が期待されている背景

安全安心!
消費者ニーズ

難防除害虫対策!
生産者ニーズ

【農家が困っている害虫は?】※日本農業新聞アンケート

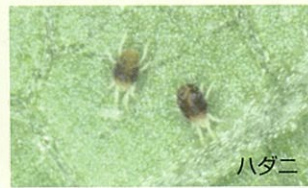
- 1位 **アザミウマ類**
- 2位 **アブラムシ**
- 3位 **ハダニ類**



農薬抵抗性の発達が著しく、
**天敵を用いた防除技術の
確立が必須**

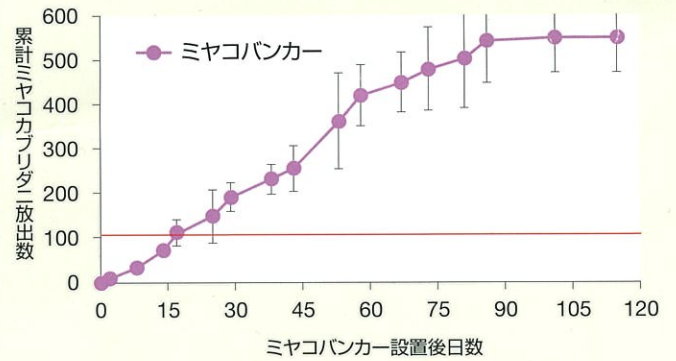


アザミウマ



ハダニ

■バンカーシートの天敵保護・増殖効果



【ミヤコカブリダニのバンカーシートからの累積放出量】

※石原産業中央研究所 室内試験 2015年
24℃、80%RH条件下での3反復平均値±SD

■現状の天敵利用の問題点とバンカーシートによる解決策

現状の問題点

難しい

害虫の発生タイミングが不定期であるため、天敵放飼の適期を見定めることが難しい

定着しにくい

天敵の隠れ場所や産卵場所が少ないうえ、気温や湿度、散水や化学農薬散布による影響を受けやすい

重労働

天敵が定着しなかった場合、生産者は天敵の繰り返し放飼が必要となり、負担が大きい

バンカーシートによる解決策

簡単

天敵を長期間保護・増殖するため、害虫の発生前に計画的に放飼し、待ち伏せ防除可能

定着しやすい

天敵の隠れ場所、産卵場所を提供し、気温や湿度変化、薬剤散布の影響を緩和する

省力

天敵が長期間放出され続けるため、繰り返し放飼の負担を軽減できる